

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (観光交流促進コース)		訪問国	シンガポール	
学校名	静岡県立浜松北高等学校	氏名	森本真帆	学年	2年

○テーマ・留学概要

テーマ：静岡を世界に！ー観光大国シンガポールから学ぶー

留学の問い：静岡県を観光の第一目的地にして訪日してもらうためには？

活動期間：7/14-8/1(19日間)

活動内容：平日 半日語学学校、半日観光地訪問

土日 観光地訪問

○留学前の活動

①地元の観光案内所でインタビュー

地元浜松にある、浜松市観光インフォメーションセンターと舘山寺温泉観光協会でスタッフの方にインタビューを行い、浜松の観光の実態を探った。どちらの観光案内所も年々紙媒体のパンフレットが減っているようだ。その一方で高齢の方はインターネットやSNSの使いづらさから紙媒体の資料を好む人が多いようだ。日本語以外の外国語のパンフレットも用意があった。道を尋ねる観光客が多いようだ。家族で旅行に行く際、観光案内所を利用することがあるが、インタビューをしている最中も訪れる方がいて、インターネットが普及してもなお観光案内所の需要があると感じた。



②日本人を対象にした観光についてのアンケート調査

知人に協力をお願いして日本人を対象にした観光や静岡県についてのアンケート調査を行った。観光をする際にどのような情報が欲しいのか、どのような手段でその情報を集めるのかなどを調査した。また、静岡県についてどのようなイメージがあるか、静岡県の魅力とは何だと思うか自由に答えてもらった。右図はブレインストーミングでまとめたもの。やはり、富士山のような自然にまつわる単語が多かった。



○留学中の活動

①観光地の訪問

三週間を通してマーライオン公園、ガーデンズバイザベイ、USSをはじめとする有名観光地からパンスパوندなど地元の人が散歩で訪れるような場所まで様々な地を訪れた。どの観光地でも祈禱室が複数設置されていたり、多言語・イラスト付きの看板があったりととても観光しやすい体制が整えられて

いた。また、道路わきにたくさんのごみ箱が設置されていることもあってか街並みはとてもきれいで、ごみのポイ捨てはほぼ目にしなかった。シンガポールは法律が厳しいことで有名だが、治安の良さは日本に負けないと感じた。お店の店員さんの多くはこちらの言語が片言でも聞き取ろうとしてくれたため、気持ちよく観光できた。

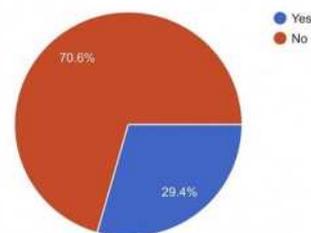
②アンケート調査

観光地で観光客に、語学学校で生徒に日本国内でやったものと大方質問項目が同じアンケートに協力



して

もらった。その結果、SNSで情報を集める人が多いこと、観光地の魅力の情報は欲しいが、交通手段についての情報の重要度が高いことが分かった。アンケートに答えてくれた全員がいつか日本を訪れたいと答えてくれたのはとても嬉しかった。一方で静岡県認知度はまだまだ低いと感じた。



○アンバサダー活動

語学学校で文化についての授業の日には日本の文化を浴衣で発表した。また、別日には他クラスの生徒も対象にフリースペースで JAPANESE PARTY を開き、日本のお菓子の試食や薄茶糖の試飲、書道体験や折り紙体験を行った。多くの生徒から好評で、自分の国の文化に興味を持ってもらうことの嬉しさを実感した。



○留学の価値

探究留学を通して、正解のない問いに向き合い、自ら考え行動しながら答えを探す姿勢の大切さを学んだ。現地では想定外の出来事も多かったが、人と関わり対話を重ねることで乗り越え、机上の学習では得られない学びの価値を実感した。異文化の中で自分の価値観を見直し、相手の立場を尊重する力も身についた。この経験から、探究留学には大きな価値があると感じており、今後も新たな留学に挑戦し、さらに学びを深めていきたい。